

2014年度 決算説明会

2015年5月7日



将来の業績に関する予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

コンテンツ

I 2014年度 決算概要

II 2015年度業績見通しと14中計進捗状況

III 2014年度連結決算詳細

(参考)補足資料

2014年度決算 ハイライト

(単位: 億円)

	13年度	14年度		対前年 増減 (C) - (A)	対予想 増減 (C) - (B)
	(A)実績	(B)期初 予想	(C)実績		
受注高	11,078	8,700	9,598	△1,480	898
売上高	6,701	7,600	8,165	1,464	565
営業利益 (売上高利益率)	200 (3.0%)	210 (2.8%)	133 (1.6%)	△67	△77
経常利益 (売上高利益率)	262 (3.9%)	200 (2.6%)	149 (1.8%)	△113	△51
当期純利益 (売上高利益率)	429 (6.4%)	100 (1.3%)	95 (1.1%)	△334	△5

US\$期末レート	102.92		120.17
US\$平均レート	95.56		107.48

受注高

MODEC、化学プラントで大型受注のあった昨年度は下回るものの、引続き高水準となった。

売上高

MODECの工事進捗増と為替円安、昭和飛行機の連結子会社化、EPC案件の進捗増により、増収となり、過去最高の売上高となった。

営業利益

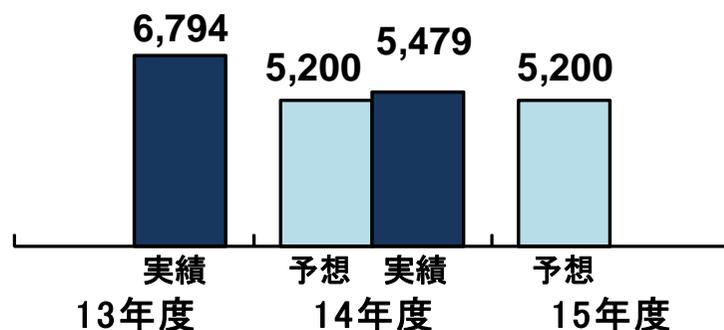
MODECが増益となったが、化学プラントの特定工事の採算悪化により、減益となった。

当期純利益

前年度に発生した負ののれん発生益等による特別利益の影響を除けば、ほぼ昨年と同水準となった。

(単位：億円)

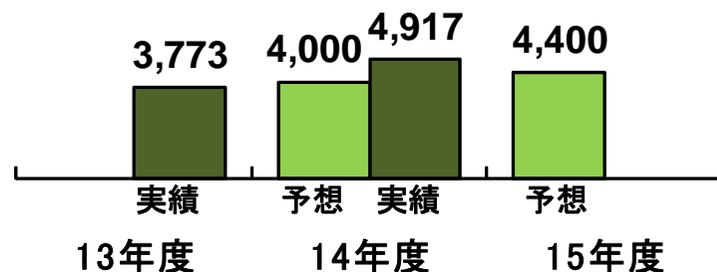
受注高



受注高:対前年度△1,315億円の減少

MODECがFPSO1件とTLPを受注したものの、前年度はFPSO2件の受注であったため前年度を下回った。
 単体ではハンディマックスを中心に省エネ型ばら積み船を15隻、防衛省向けに潜水艦救難艦を1隻受注した。
 子会社では、ばら積み船や巡視船等を受注した。

売上高



売上高:対前年度+1,144億円の増収

新造船で低船価で受注した船の売上が続くことから減少したものの、MODECでFPSO建造工事が順調に進捗したこと等により前年度を上回った。

営業利益



営業利益:対前年度+3億円の増益

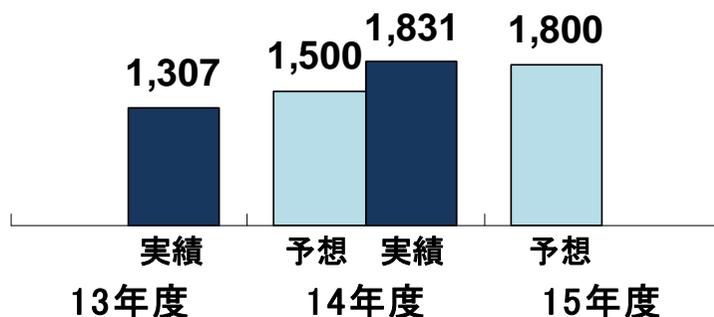
低船価で受注した船が中心となったものの、生産効率改善や、為替の円高修正、MODECの増益等により、前年度をわずかに上回った。

機械

主要製品:ディーゼル機関、産業機械、物流運搬機

(単位:億円)

受注高



受注高:対前年度+524億円の増加

新設・代替両面から需要が旺盛な物流運搬機が大幅に増加し、種々の営業努力により受注増となったアフターサービス事業と共に、過去最高を記録した。また、船用ディーゼル機関も前年度を底として回復し、前年度を大きく上回った。

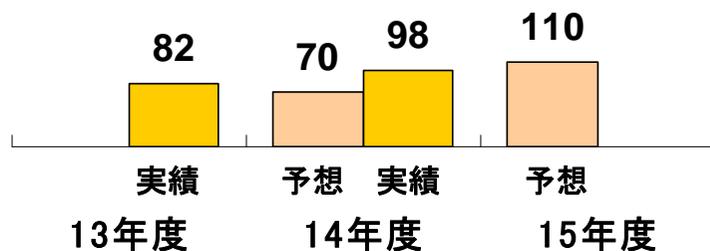
売上高



売上高:対前年度△13億円の減収

アフターサービス事業が増加したものの、船用ディーゼル機関が減少したこと等により、前年度をわずかに下回った。

営業利益



営業利益:対前年度+16億円の増益

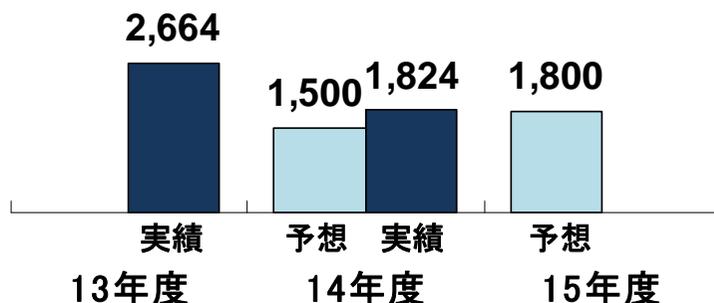
船用ディーゼル機関本体の採算は厳しいものの、アフターサービス事業の売上増加、物流運搬機が引続き好調であること等により、前年度を上回った。

エンジニアリング

主要製品: 化学プラント、水処理プラント、
海外土木・建設工事、発電プラント

(単位: 億円)

受注高



受注高: 対前年度△840億円の減少

化学プラント分野では、米国Sasol社よりLDPEプラントを受注し、インフラ発電分野では、ベトナムでの発電所拡張工事を、また、子会社BWSCが英国でバイオマス発電プラントを連続受注するなど、前年度を下回ったものの、引続き高水準となった。

売上高



売上高: 対前年度+132億円の増収

昨年度に受注した大型案件をはじめとした既受注工事を着実に遂行したことや、BWSCの大幅な増収などにより、前年度を上回った。

営業利益



営業利益: 対前年度△104億円の悪化

化学プラントにおいて、特定工事で採算が大幅に悪化したこと等により、前年度を大きく下回った。

2015年度 業績見通し

(単位:億円)

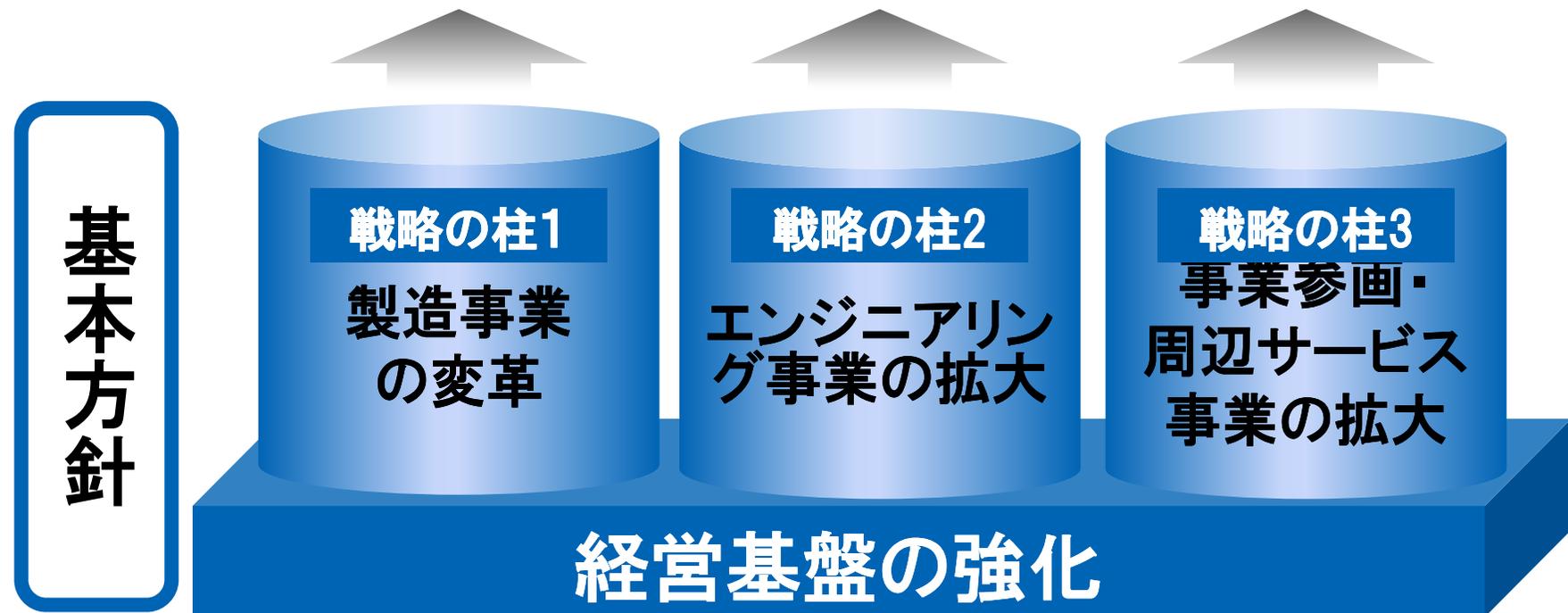
	14年度 実績	15年度 予想	増減
受注高	9,598	9,100	△498
売上高	8,165	8,300	135
営業利益 (売上高利益率)	133 (1.6%)	220 (2.7%)	87
経常利益 (売上高利益率)	149 (1.8%)	250 (3.0%)	101
当期純利益 (売上高利益率)	95 (1.1%)	130 (1.6%)	35
1株当り配当	2円	3~4円	

US\$前提

115.00

基本方針

持続的成長と収益安定性を兼ね備えた
バランスの取れた事業ポートフォリオの実現



1 4 中計 進捗状況

● 事業領域の変革とビジネスモデルの変革

【戦略の柱1】 製造事業の変革

エコシップのラインナップ拡充（ケープサイズ、VLCC等 受注活動中）
船用ディーゼル機関の燃料多様化（ME-GI、ME-GI-Ethane、ME-LGI）
海洋資源開発分野の拡大・強化（FPSO船体、海洋支援船）
生産能力の強化に向けた攻めの設備投資

【戦略の柱2】 エンジニアリング事業の拡大

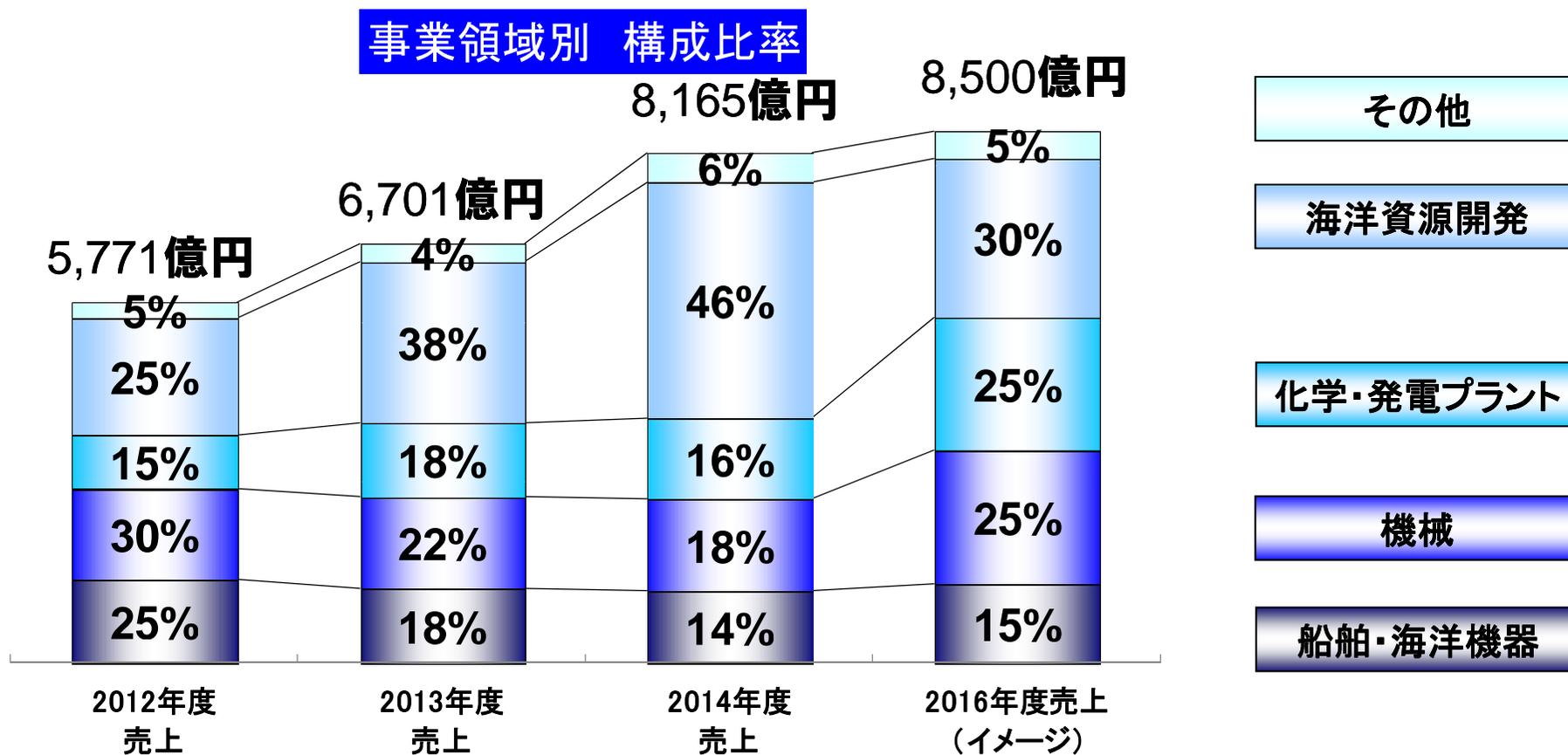
石油・ガス化学分野での受注の拡大（高水準の受注高）
再生可能エネルギー分野の強化・拡大（バイオガス/バイオマス発電、風力発電）
子会社間の相互連携強化（DASHの活用等グループ全体での総合エンジニアリング能力の追求）

【戦略の柱3】 事業参画、周辺サービス事業の拡大

テクノサービス事業の海外拠点拡充・強化（トルコ、カタールへ拠点を展開）
クレーン周辺サービスの拡充とターミナル事業への参入（ターゲットの絞込）
ライフサイクルエンジニアリングサービスの育成（MESA、再生可能エネルギーへの投資）

1 4 中計 進捗状況

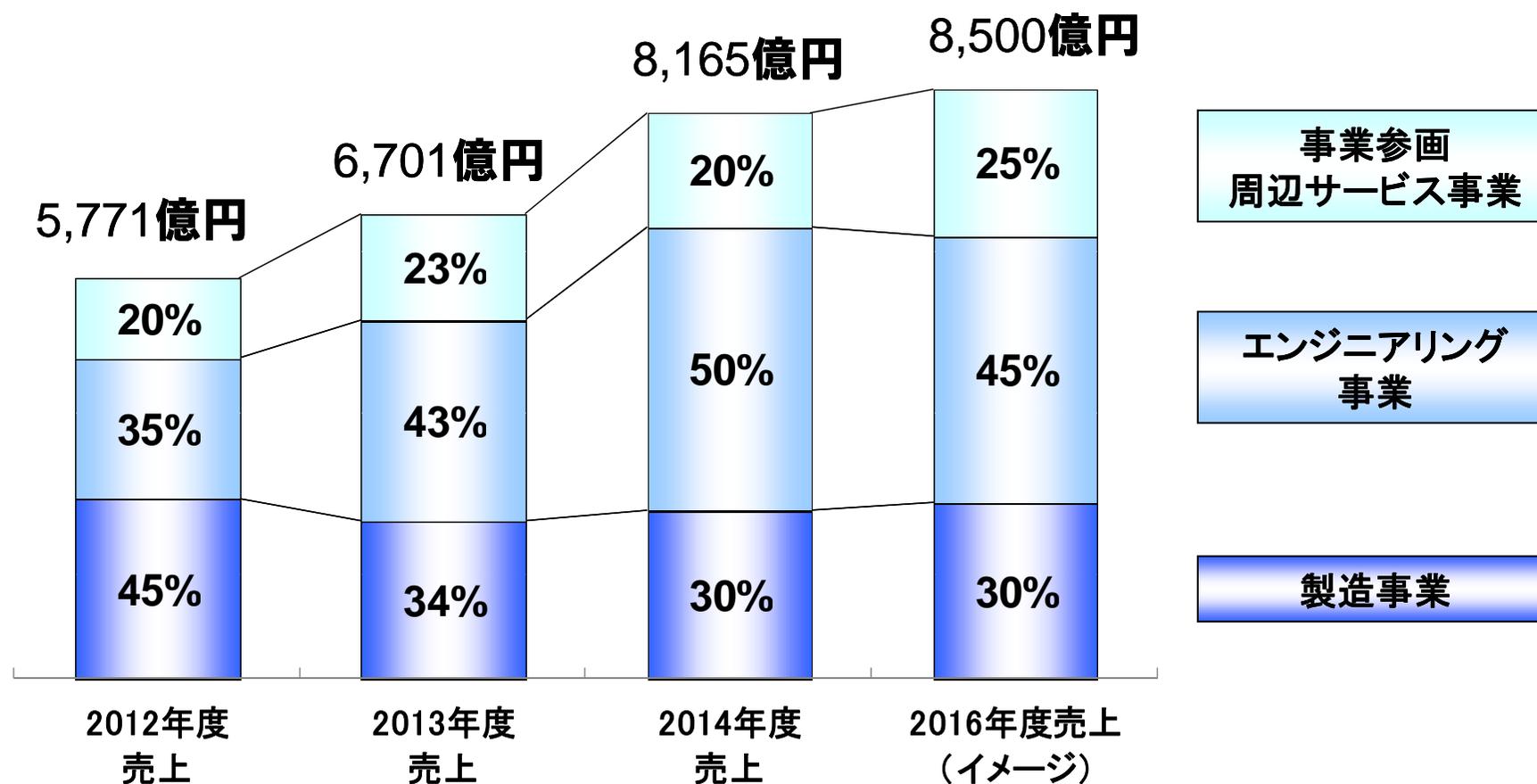
バランスのとれた事業ポートフォリオに向けて



1 4 中計 進捗状況

バランスのとれた事業ポートフォリオに向けて

ビジネスモデル別 構成比率



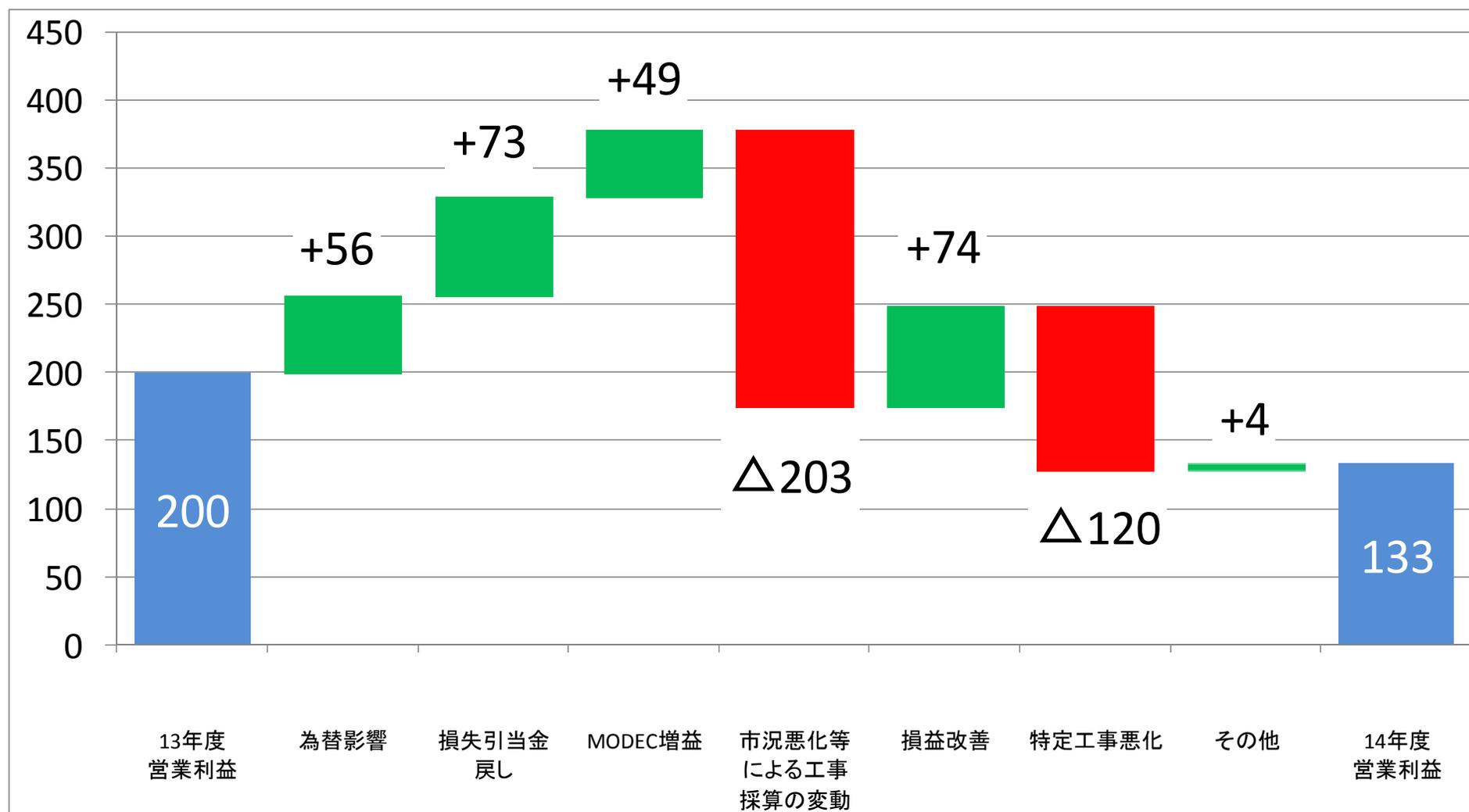
2014年度 連結損益計算書

(単位:億円)

	13年度	14年度	増減	増減理由
売上高	6,701	8,165	1,464	MODECで+1,241億円
売上総利益	633	595	△ 38	
販売費及び一般管理費	433	462	29	昭和飛行機子会社化+27億円
営業利益	200	133	△ 67	エンジニアリングセグメントが 特定工事等により△104億円
営業利益率	3.0%	1.6%		
営業外収益	132	111	△ 21	為替差益が△30億円
営業外費用	70	95	25	デリバティブ評価損+21億円
経常利益	262	149	△ 113	
特別利益	376	71	△ 305	昭和飛行機子会社化による
特別損失	156	60	△ 96	負ののれん等の差額△305億円
税引前利益	482	160	△ 322	
法人税等	37	61	24	
少数株主利益	16	4	△ 12	
当期純利益	429	95	△ 334	

営業利益前当期差額分析

(単位:億円)



2014年度 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	13年度末	14年度末	増減	増減理由
流動資産	4,070	5,426	1,356	受取手形・売掛金+833億円(MODEC) 短期貸付金+250億円
固定資産	5,259	5,320	61	
資産合計	9,329	10,746	1,417	
	13年度末	14年度末	増減	
流動負債	3,685	4,829	1,144	支払手形・買掛金+723億円(MODEC) 前受金+184億円
固定負債	2,408	2,444	36	
負債合計	6,093	7,273	1,180	
株主資本	1,980	2,005	25	
その他の包括利益累計額他	225	364	139	
少数株主持分	1,031	1,104	73	
純資産合計	3,236	3,473	237	
負債純資産合計	9,329	10,746	1,417	

セグメント別業績見通し

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	14年度 実績	15年度 予想	増減	14年度 実績	15年度 予想	増減	14年度 実績	15年度 予想	増減
船舶 海洋	5,479	5,200	△279	4,917	4,400	△517	102	30	△72
機械	1,831	1,800	△31	1,465	1,800	335	98	110	12
エンジニア リング	1,824	1,800	△24	1,299	1,700	401	△106	50	156
その他	464	300	△164	483	400	△83	39	30	△9
合計	9,598	9,100	△498	8,165	8,300	135	133	220	87

連結キャッシュフロー、各種指標

(単位：億円)

	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 予想
営業CF	472	145	152	370
投資CF	△121	△373	△324	△530
フリーCF	351	△228	△172	△160
財務CF	△48	155	△44	400

有利子負債	1,483	1,878	1,883	2,250
DELシオ	0.8	0.9	0.8	0.9
ROIC	8.2%	6.5%	4.2%	
ROE	△4.6%	21.6%	4.1%	

* 有利子負債：借入金及び社債

補足: 連結 部門別

(単位: 億円)

受注高

	13年度実績	14年度実績	15年度予想
船舶海洋	6,794	5,479	5,200
機械	1,307	1,831	1,800
エンジニアリング	2,664	1,824	1,800
その他	312	464	300
合計	11,078	9,598	9,100

売上高

船舶海洋	3,773	4,917	4,400
機械	1,478	1,465	1,800
エンジニアリング	1,167	1,299	1,700
その他	283	483	400
合計	6,701	8,165	8,300

受注残高

船舶海洋	10,897	12,260	13,060
機械	1,081	1,443	1,443
エンジニアリング	3,316	4,067	4,167
その他	151	131	31
合計	15,445	17,901	18,701

補足：子会社、設備投資、従業員等

(単位：億円)

主要子会社

子会社	12年度実績		13年度実績		14年度実績		15年度予想	
	受注	売上	受注	売上	受注	売上	受注	売上
MODEC	3,427	1,869	5,185	2,544	3,958	3,785	—	3,000
BWSC	116	161	817	292	733	354	—	520
昭和飛行機	—	—	—	—		241		240

(単位：億円)

設備投資等

連結	12年度実績	13年度実績	14年度実績	15年度予想
設備投資	126	225	166	350
減価償却費	163	151	175	—
研究開発	60	51	49	68

従業員数

連結	12年度末	13年度末	14年度末	15年度末予想
従業員数	9,881人	12,055人	12,291人	—人

補足：主要製品と主要納入先：船舶海洋

新造船

主要製品 = 商船、艦艇、官公庁船、作業船、漁船

主要顧客 = 国内外船主、海運会社、防衛省、海上保安庁



海洋構造物

主要製品 = FPSO/FSO (浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備/貯蔵積出設備)

主要顧客 = 石油開発会社



修繕船・その他

主要製品 = 船舶修理・改造、船舶用製品、水中機器

主要顧客 = 海運会社、防衛省、海上保安庁、公共機関



2014年度単体新造船受注内訳

(単位:隻)

船種	受注	引渡	受注残
バルクキャリア (省エネ型 neoシリーズ)	15	12	42
FPSO船体		1	
艦船・官公庁船	1	5	4
合計	16	18	46

補足：主要製品と主要納入先：機械

主要製品・主要顧客

ディーゼルエンジン

主要製品 = 船用ディーゼルエンジン等

主要顧客 = 造船所等



産業機械

主要製品 = 圧縮機、送風機、ガスタービン、蒸気タービン、プロセス機器、誘導加熱装置、レーダ検査装置、マニピュレーター等

主要顧客 = 石油精製、石油化学、製鉄、製紙、発電会社、自動車メーカー等



テクノサービス

主要製品 = ディーゼルエンジン、産業機械、クレーンのサービスパーツ、メンテナンス等

主要顧客 = 海運業、石油業界、製鉄業界、海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社等

コンテナクレーン

主要製品 = ポーターナ(岸壁クレーン)、トランスターナ(港湾クレーン)、産業クレーン、CTMS※等

主要顧客 = 海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社、製鉄等

※Container Terminal Management System



その他

主要製品 = 陸用/船用非常用発電装置、鋳造品、鍛造品等

主要顧客 = 建機メーカー、鉄道、通信インフラ関連業界、機械メーカー等

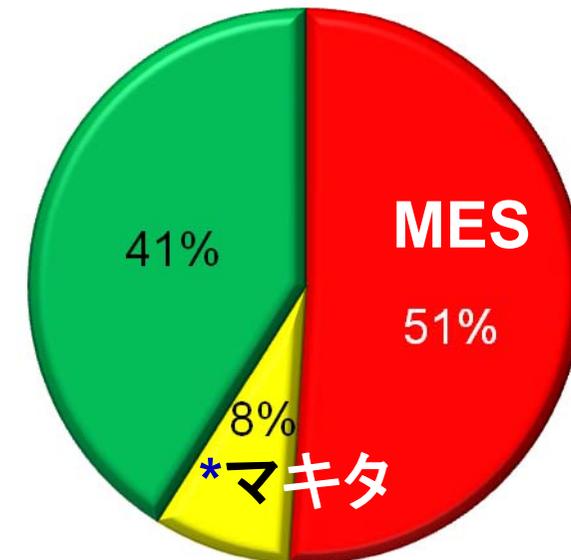


補足：2014年度船用ディーゼル機関

	13年度累計		14年度累計	
	基数	万馬力	基数	万馬力
受注	137	273	176 *(12)	322 *(31)
売上	149	343	166	328
受注残	140	293	149 *(12)	284 *(31)
生産	164	357	181	354

* () 内数値は、ガス焚きエンジン (GI、LGI) 内数

2014年1月～12月
船用ディーゼルエンジン国内シェア



Source: KPデータ(2ストローク機関)

* (株)マキタは当社サブライセンシー

補足：主要製品と主要納入先：エンジニアリング

化学プラント

主要製品 = プラスチック、合成繊維、合成ゴム等石油・ガス化学プラントのEPC

主要顧客 = 国内外の大手化学企業や国営石油会社

インフラ発電

主要製品 = 石炭火力発電所の土建工事、バイオマス発電等再生可能エネルギープラント
および汚泥再生処理等の環境プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 総合商社、国内新電力会社、地方自治体

BWSC(インフラ発電)

主要製品 = ディーゼル発電プラントおよびバイオマス発電プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 大手電力会社や独立系発電事業者 (Independent Power Producer)



エンジニアリング受注・売上内訳 (億円)

	13年度		14年度	
	受注高	売上高	受注高	売上高
化学プラント	1,535	539	457	572
インフラ発電	1,129	628	1,367	727
計	2,664	1,167	1,824	1,299

補足：15年3月期エンジニアリング/主要プロジェクトの状況

